

ほくよう資産形成応援ファンド ＜愛称 ほくよう未来への翼＞

追加型投信／国内／資産複合

交付運用報告書

第8期(決算日2025年6月10日)

作成対象期間(2024年6月11日～2025年6月10日)

| 第8期末(2025年6月10日) | |
|------------------|---------|
| 基準価額 | 10,047円 |
| 純資産総額 | 477百万円 |
| 第8期 | |
| 騰落率 | △ 3.4% |
| 分配金(税込み)合計 | 0円 |

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「ほくよう資産形成応援ファンド」は2025年6月10日に第8期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドは、主として、投資対象ファンドへの投資を通じて、国内の複数の資産(債券・株式・REIT)に分散投資し、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」から該当ファンドの「運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。



ちばぎんアセットマネジメント

東京都墨田区江東橋2丁目13番7号

<照会先>

電話番号：03-5638-1451

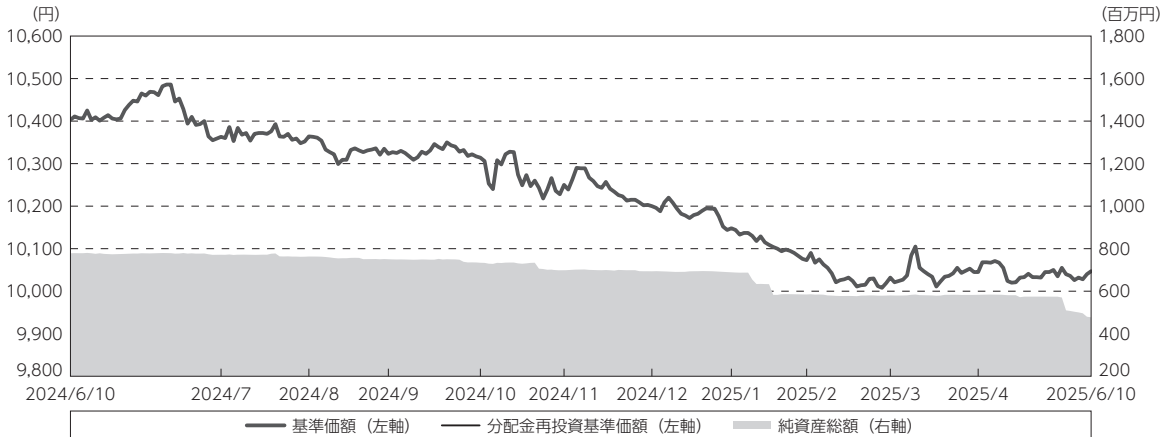
(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

ホームページ：http://www.chibagin-am.co.jp/

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年6月11日～2025年6月10日)



期首：10,403円

期末：10,047円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 3.4% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年6月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、当期末において10,047円となり、期首比では3.4%(信託報酬控除後、分配金再投資ベース)の下落となりました。

なお、期中の分配は見送りました。

当ファンドは、ニッセイアセットマネジメント株式会社が運用する「ダイナミック・コントロール・ジャパン(適格機関投資家専用)」および「ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定)」を主要投資対象とし、投資対象ファンドへの投資を通じて、国内の複数の資産(債券・株式・REIT)に分散投資しました。実質的な資産配分は、計量モデルによる市場局面判断等に基づき、有価証券先物取引等を活用して調整を行いました。

(プラス要因)

- ・2024年6月中旬から7月上旬の株式市場の上昇局面で、国内株式の現物資産のプラス寄与が先物取引の売り建てのマイナス寄与を上回ったこと

(マイナス要因)

- ・2024年9月下旬から2025年3月下旬までの国内長期金利の上昇局面で、国内債券がマイナスに寄与したこと
- ・2024年11月下旬から12月中旬までの国内リートの下落局面で、国内リートの実質組入比率を15～18%程度に維持していたこと

1万口当たりの費用明細

(2024年6月11日～2025年6月10日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|---------|------------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 87 円 | 0.852 % | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投 信 会 社) | (39) | (0.385) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販 売 会 社) | (45) | (0.440) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (3) | (0.027) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) そ の 他 費 用 | 1 | 0.006 | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (監 査 費 用) | (1) | (0.006) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合 計 | 88 | 0.858 | |
| 期中の平均基準価額は、10,217円です。 | | | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

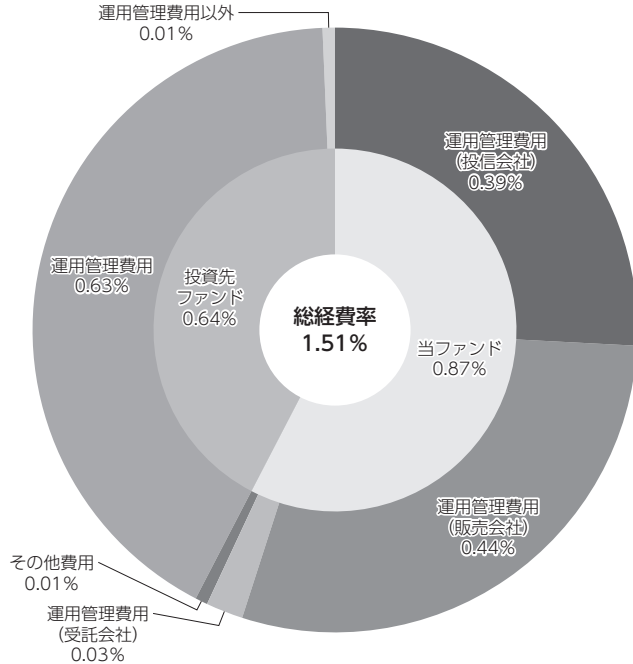
(注4) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.51%です。



(単位: %)

| | |
|----------------------|------|
| 総経費率(①+②+③) | 1.51 |
| ①当ファンドの費用の比率 | 0.87 |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.63 |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.01 |

(注1) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注5) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年6月10日～2025年6月10日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2020年6月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

| | 2020年6月10日 決算日 | 2021年6月10日 決算日 | 2022年6月10日 決算日 | 2023年6月12日 決算日 | 2024年6月10日 決算日 | 2025年6月10日 決算日 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 10,002 | 10,442 | 10,395 | 10,129 | 10,403 | 10,047 |
| 期間分配金合計(税込み) (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 4.4 | △ 0.5 | △ 2.6 | 2.7 | △ 3.4 |
| 純資産総額 (百万円) | 1,407 | 933 | 830 | 848 | 778 | 477 |

- (注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注4) 当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を特定しておりません。

投資環境

(2024年6月11日～2025年6月10日)

【国内債券】

国内長期金利（10年国債利回り）は上昇しました。期初から2024年7月上旬にかけては、日銀による利上げ観測の高まりや国債買入れの具体的な減額計画に対する警戒感の高まりなどから上昇しました。8月上旬にかけては、世界的な株安や米国景気の後退懸念、米国利下げ観測の高まりなどを受けて大幅に低下しましたが、11月下旬にかけては米国景気懸念の後退や衆議院選挙で与党が過半数割れとなり財政拡張への警戒感が高まったこと、米国大統領選挙でのトランプ氏の勝利および共和党が上下院の過半数を占める「トリプルレッド」となったことを背景とした米国金利の上昇などを受けて、上昇しました。その後、2025年3月下旬にかけては日銀による利上げに加え更なる利上げへの警戒感、堅調な米国経済を受けた米国金利の上昇、軟調な国債入札結果やドイツの国防費増額報道を受けた欧州金利の上昇などを背景に、上昇しました。4月上旬にかけては、トランプ米国大統領による輸入自動車関税や相互関税の発表を受けて市場のリスク回避姿勢が強まったことから大幅に低下しましたが、4月中旬にかけては過度なリスク回避姿勢の反動や、トランプ米国大統領が相互関税の上乗せ部分について、一部の国・地域は90日間停止すると発表したことなどを受けて、上昇しました。5月下旬にかけては、米中間の貿易戦争に対する懸念の後退や国内の財政悪化懸念を受けて上昇しましたが、期末にかけては国債発行計画の年限構成見直し検討に伴う超長期債発行減額観測の高まりや堅調な国債入札結果などを受けて、低下しました。

【国内株式】

国内株式市場は、日経平均株価は前期末比で下落した一方で、東証株価指数（TOPIX）は上昇しました。期初から2024年7月中旬にかけては、米国の長期金利低下を受けた米国ハイテク株の上昇や円安米ドル高の進行などを背景に、日経平均株価は一時42,400円台まで上昇しました。その後、8月上旬にかけては米国による対中半導体規制強化の報道や米国景気の後退懸念の高まり、植田日銀総裁のタカ派的な姿勢、急速な円高米ドル安進行など悪材料が重なり、日経平均株価は一時31,100円台まで急落しました。9月上旬にかけては、米国景気に対する過度な懸念が後退したことや、内田日銀副総裁が金融引き締めにより慎重な姿勢を示したことなどから、日経平均株価は一時39,000円台まで値を戻しました。9月中旬にかけては、米国景気の減速懸念の再燃や欧米株式市場の下落などを受けて一時35,200円台まで下落しましたが、政府・日銀が追加利上げを急がない姿勢を示したことや円安米ドル高の進行、米国株式市場の上昇などを追い風に反発に転じ、12月下旬にかけて日経平均株価は一時40,300円台まで上昇しました。2025年3月中旬にかけては、米国による対中半導体規制強化や中国発の生成AIに対する警戒感の高まり、トランプ米国大統領の関税政策への警戒感などを受け、日経平均株価は一時35,900円台まで下落しました。その後持ち直す局面があったものの、4月上旬にかけてはトランプ米国大統領による輸入自動車関税や相互関税の発表を受けて、世界経済の先行き不透明感の高まりや企業業績の悪化懸念、貿易戦争拡大への懸念などからリスク回避の動きが強まり、日経平均株価は一時30,700円台まで急落しました。期末にかけては、トランプ米国大統領が相互関税の上乗せ部分について、一部の国・地域は90日間停止すると発表したことに加え、主要企業の決算発表を通じて米国の関税による影響への懸念が和らいだことや米中間の緊張緩和に向けた動きなどを受けて持ち直しの動きとなり、日経平均株価は38,200円台で期を終えました。

【国内リート】

国内リート市場は上昇しました。期初から2024年7月中旬にかけては、株式市場と比較した相対的な割安感などから堅調に推移しました。8月上旬にかけては日銀のタカ派的な姿勢に加え、米国の景気後退懸念などを背景とした世界的な株式市場の急落を受けて大幅に下落しましたが、8月下旬にかけては、国内株式市場の反発や米国の利下げ観測の高まり、日銀のハト派姿勢から国内金利が低下したことを受けて上昇しました。12月中旬にかけては米国の利下げ観測の後退や、日銀の追加利上げ観測の高まりを受けた国内金利の上昇などを背景に下落しましたが、12月の日銀金融政策決定会合でハト派的なスタンスが示されたことで安心感が広がり、年末にかけて反発しました。2025年1月下旬にかけては日銀の利上げ観測が再浮上したことから軟調な動きとなりましたが、実際に利上げが実施されると悪材料の出尽くしが意識されたほか、海外投資ファンドによる公開買い付け（TOB）の発表なども後押しとなり、3月下旬にかけて上昇しました。その後、米国の関税政策を巡る不透明感から株式市場が急落するなかで国内リート市場も4月上旬にかけて下落しましたが、期末にかけては物件売却による配当金の増額や自己投資口の取得などの資本施策の強化を決算とともに公表した銘柄が多く見られたことや、株式市場が戻り歩調となったことなどを受けて切り返しの動きとなり、上昇して期を終えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年6月11日～2025年6月10日)

主要投資対象であるニッセイアセットマネジメント株式会社が運用する「ダイナミック・コントロール・ジャパン（適格機関投資家専用）」への投資を高位に保つ運用を行いました。

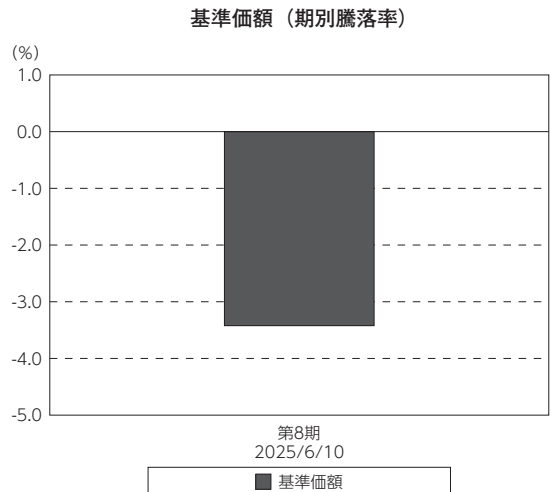
| 組入ファンド | 当期末 |
|-------------------------------|-------|
| ダイナミック・コントロール・ジャパン（適格機関投資家専用） | 99.5% |
| ニッセイマネーマーケットファンド（適格機関投資家限定） | 0.0% |

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年6月11日～2025年6月10日)

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を特定しておりません。

右記グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

(2024年6月11日～2025年6月10日)

基準価額水準、市況動向などを勘案し、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

| 項 目 | 第8期 |
|-----------|---------------------------|
| | 2024年6月11日～ 2025年6月10日 |
| 当期分配金 | — |
| (対基準価額比率) | —% |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 431 |

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後もニッセイアセットマネジメント株式会社が運用する「ダイナミック・コントロール・ジャパン(適格機関投資家専用)」および「ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定)」を主要投資対象とし、投資対象ファンドへの投資を通じて、国内の複数の資産(債券・株式・REIT)に分散投資します。また、各資産への実質的な配分は、計量モデルによる市場局面判断等に基づき、有価証券先物取引等を活用して機動的に変更してまいります。

また引き続き、投資対象ファンドへの合計投資割合は、原則として高位を維持してまいります。

お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更をいたしました。(変更日:2025年4月1日)

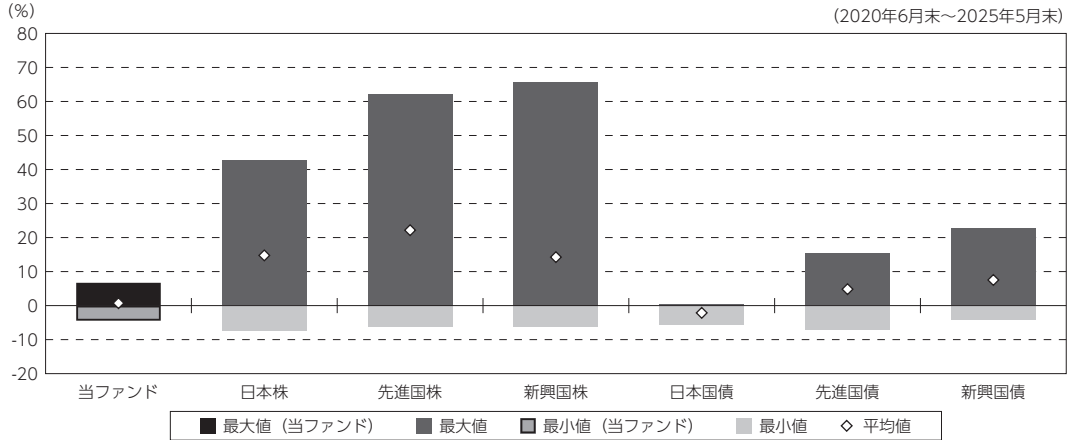
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

| | |
|--------|--|
| 商品分類 | 追加型投信/国内/資産複合 |
| 信託期間 | 2017年8月31日から無期限です。 |
| 運用方針 | 信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。 |
| 主要投資対象 | 投資対象ファンドへの投資を通じて、国内の複数の資産（債券・株式・REIT）に分散投資します。 |
| 運用方法 | 主として、投資対象ファンドへの投資を通じて、国内の複数の資産（債券・株式・REIT）に分散投資し、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。 |
| 分配方針 | 毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等のうちから、基準価額水準等を勘案して、分配を行う方針です。 ただし、分配対象金額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 収益分配に充てなかった留保益については、元本部分と同一の運用を行います。 |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 最大値 | 6.7 | 42.8 | 62.2 | 65.6 | 0.6 | 15.3 | 22.7 |
| 最小値 | △ 4.4 | △ 7.5 | △ 6.1 | △ 6.1 | △ 5.6 | △ 7.1 | △ 4.1 |
| 平均値 | 0.7 | 14.8 | 22.2 | 14.2 | △ 2.1 | 4.8 | 7.5 |

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2020年6月から2025年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

- 日本株：Morningstar 日本株式指数
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、すべて利子・配当込みのグロス・リターン指数です。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年6月10日現在)

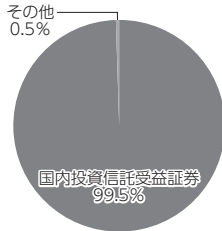
○組入上位ファンド

| 銘柄名 | 第8期末 |
|-------------------------------|------|
| | % |
| ダイナミック・コントロール・ジャパン(適格機関投資家専用) | 99.5 |
| ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定) | 0.0 |
| 組入銘柄数 | 2銘柄 |

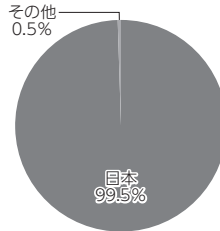
(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

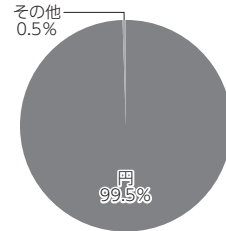
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注3) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

| 項目 | 第8期末 |
|------------|--------------|
| | 2025年6月10日 |
| 純資産総額 | 477,336,168円 |
| 受益権総口数 | 475,106,305口 |
| 1万口当たり基準価額 | 10,047円 |

(注) 期中における追加設定元本額は43,559,303円、同解約元本額は316,726,407円です。

組入上位ファンドの概要

ダイナミック・コントロール・ジャパン（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】

(2024年7月17日～2025年1月15日)



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2024年7月17日～2025年1月15日)

| 項目 | 第83期～第88期 | |
|---|--------------------------|--|
| | 金額 | 比率 |
| 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社) | 35 (33) (0) (1) | 0.316 (0.303) (0.000) (0.013) |
| 売買委託手数料 (株式会社) (先物・オプション) (投資信託証券) | 4 (1) (1) (2) | 0.040 (0.012) (0.014) (0.014) |
| その他費用 (監査費用) | 1 (1) | 0.005 (0.005) |
| 合計 | 40 | 0.361 |

期中の平均基準価額は10,952円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位ファンド】

| | 第88期末 2025年1月15日 |
|--------------------------|---------------------|
| ニッセイ国内債券アルファマザーファンド | 34.0% |
| ニッセイJPX日経400アクティブマザーファンド | 30.0 |
| ニッセイJ-R E I Tマザーファンド | 19.7 |

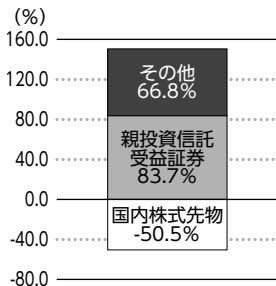
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全ファンドを記載しています。

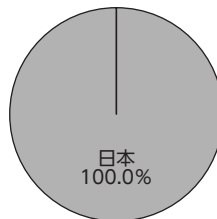
【組入上位銘柄】

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|------------------|----|-------|
| ミニTPX 先物 0703月 売 | 円 | 30.5% |
| TREIT 先物 0703月 売 | 円 | 20.0 |
| 組入銘柄数 | 2 | |

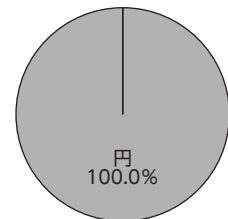
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

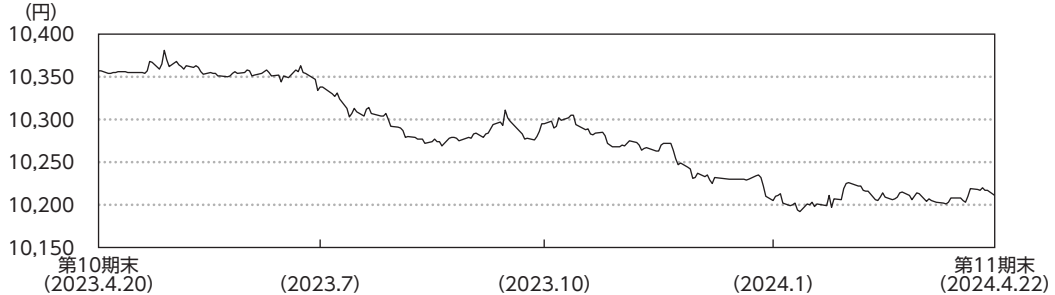


(注) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、2025年1月15日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

直接投資しているのは「ダイナミック・コントロール・ジャパン（適格機関投資家専用）」ですが、その先の投資資産を表示しております。

＜ご参考＞ ニッセイ国内債券アルファマザーファンドの概要

【基準価額の推移】



【上位銘柄】

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|-----------------|----|-------|
| 長国 先 0606月 売 | 円 | 53.6% |
| 第1215回 国庫短期証券 | 円 | 15.0 |
| 第1218回 国庫短期証券 | 円 | 11.3 |
| 第1227回 国庫短期証券 | 円 | 7.5 |
| 第360回 利付国債（10年） | 円 | 6.4 |
| 第81回 利付国債（30年） | 円 | 6.0 |
| 第363回 利付国債（10年） | 円 | 5.8 |
| 第82回 利付国債（30年） | 円 | 5.2 |
| 第448回 利付国債（2年） | 円 | 4.6 |
| 第453回 利付国債（2年） | 円 | 3.2 |
| 組入銘柄数 | | 36 |

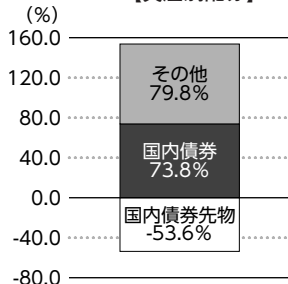
【1万口当たりの費用明細】

2023.4.21～2024.4.22

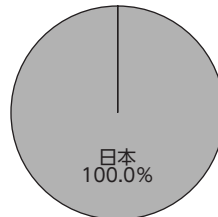
| 項目 | 金額 |
|-----------------------|-----------|
| 売買委託手数料 （先物・オプション） | 1円 (1) |
| その他費用 （その他） | 0 (0) |
| 合計 | 1 |

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

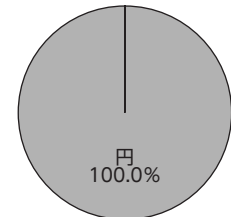
【資産別配分】



【国別配分】



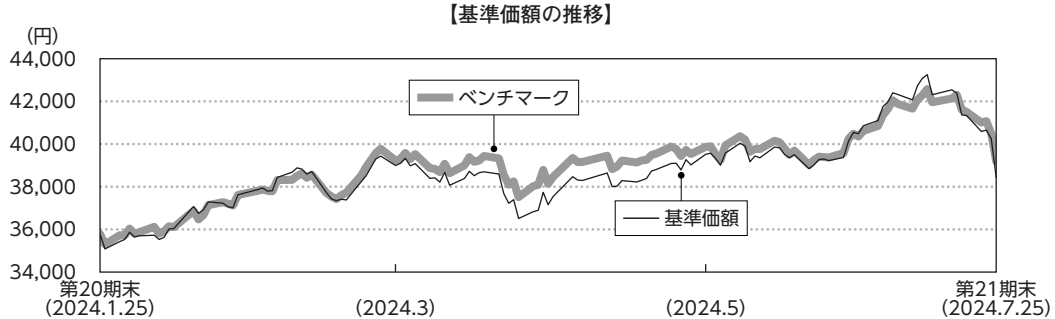
【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2024年4月22日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

<ご参考> ニッセイ J P X 日経400アクティブマザーファンドの概要



(注) ベンチマークは J P X 日経インデックス400 (配当込み) で、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。「J P X 日経インデックス400」は、株式会社 J P X 総研 (以下「J P X 総研」といいます) および株式会社日本経済新聞社 (以下「日経」といいます) によって独自に開発された手法によって算出される著作物であり、J P X 総研および日経は、「J P X 日経インデックス400」自体および「J P X 日経インデックス400」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。「J P X 日経インデックス400」を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、すべて J P X 総研、株式会社日本取引所グループおよび日経に帰属しています。J P X 総研および日経は、当商品の運用および取引に関して、一切の責任を負いません。J P X 総研および日経は、「J P X 日経インデックス400」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に関して、責任を負いません。J P X 総研および日経は、「J P X 日経インデックス400」の構成銘柄、計算方法、その他「J P X 日経インデックス400」の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

【上位銘柄】

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|-------------------|----|------|
| 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 円 | 7.0% |
| 日立製作所 | 円 | 6.3 |
| 東京海上ホールディングス | 円 | 6.3 |
| リクルートホールディングス | 円 | 5.2 |
| 三井住友フィナンシャルグループ | 円 | 4.9 |
| キーエンス | 円 | 4.3 |
| 丸紅 | 円 | 3.6 |
| 三菱商事 | 円 | 3.4 |
| 信越化学工業 | 円 | 3.1 |
| 伊藤忠商事 | 円 | 3.1 |
| 組入銘柄数 | | 41 |

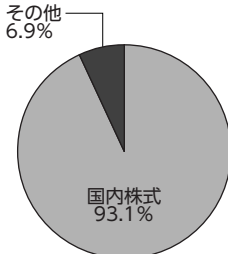
【1万口当たりの費用明細】

2024.1.26~2024.7.25

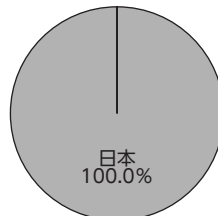
| 項目 | 金額 |
|-----------------|-------------|
| 売買委託手数料 (株式) | 12円 (12) |
| その他費用 (その他) | 0 (0) |
| 合計 | 12 |

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。

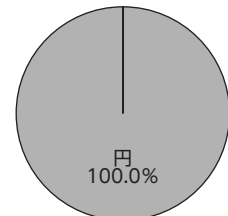
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

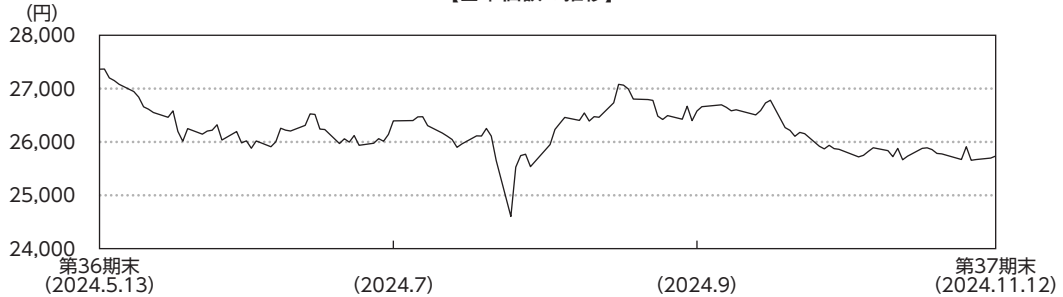


(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日 (2024年7月25日現在) のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

<ご参考> ニッセイ J-REIT マザーファンドの概要

【基準価額の推移】



【上位銘柄】

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|----------------|----|------|
| GLP 投資法人 | 円 | 8.7% |
| ラサールロジポート投資法人 | 円 | 7.1% |
| KDX不動産投資法人 | 円 | 5.8% |
| 大和ハウスリート投資法人 | 円 | 5.2% |
| 大和証券リビング投資法人 | 円 | 4.9% |
| 日本プロロジスリート投資法人 | 円 | 4.9% |
| 日本都市ファンド投資法人 | 円 | 4.7% |
| オリックス不動産投資法人 | 円 | 4.4% |
| 星野リゾート・リート投資法人 | 円 | 3.9% |
| インヴィンシブル投資法人 | 円 | 3.7% |
| 組入銘柄数 | | 45 |

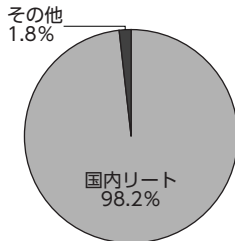
【1万口当たりの費用明細】

2024.5.14~2024.11.12

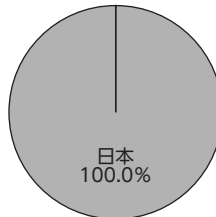
| 項目 | 金額 |
|----------|------|
| 売買委託手数料 | 17円 |
| (投資信託証券) | (17) |
| 合計 | 17 |

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

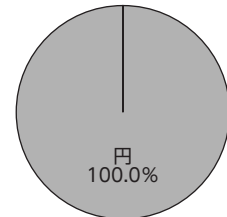
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

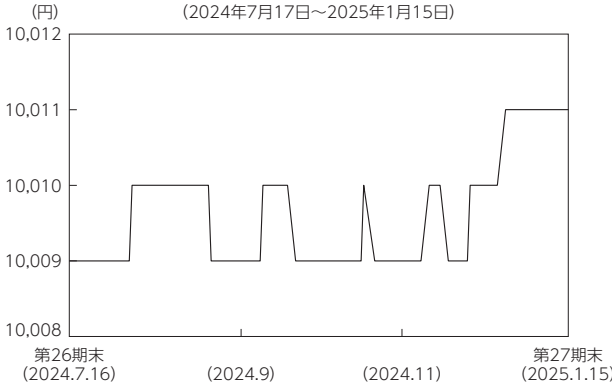


(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2024年11月12日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイマネーマーケットファンド (適格機関投資家限定)

【基準価額の推移】



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2024年7月17日～2025年1月15日)

| 項 目 | 第27期 | |
|-------------|------|---------|
| | 金 額 | 比 率 |
| 信 託 報 酬 | 5 | 0.052 |
| (投 信 会 社) | (4) | (0.042) |
| (販 売 会 社) | (0) | (0.002) |
| (受 託 会 社) | (1) | (0.008) |
| そ の 他 費 用 | 0 | 0.000 |
| (監 査 費 用) | (0) | (0.000) |
| 合 計 | 5 | 0.052 |

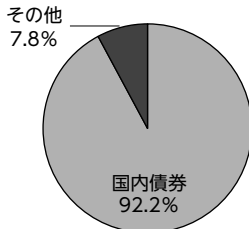
期中の平均基準価額は10,010円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

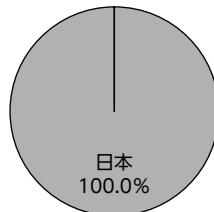
【上位銘柄】

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|---------------------------|----|-------|
| 平成26年度第1回 滋賀県公募公債 | 円 | 14.6% |
| 令和元年度第8回 神戸市公募公債(5年) | 円 | 14.5 |
| 第146回 共同発行市場公募地方債 | 円 | 12.8 |
| 第213回 神奈川県公募公債 | 円 | 12.7 |
| 令和元年度第1回 鹿児島県公募公債(5年) | 円 | 12.7 |
| 第69回 政保地方公共団体金融機構債券 | 円 | 6.4 |
| 第147回 共同発行市場公募地方債 | 円 | 6.3 |
| 第748回 東京都公募公債 | 円 | 6.3 |
| 第231回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券 | 円 | 5.7 |
| 組入銘柄数 | | 9 |

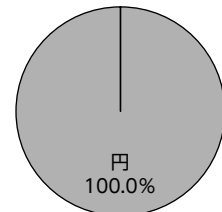
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2024年10月15日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

※上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- **日本株**
Morningstar 日本株式指数は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- **先進国株**
Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- **新興国株**
Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- **日本国債**
Morningstar 日本国債指数は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- **先進国債**
Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- **新興国債**
Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、新興国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、すべて利子・配当込みのグロス・リターン指数です。

<重要事項>

当ファンドは、Morningstar,Inc.、またはモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar,Inc.の関連会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstar インデックス」と言います）の能力について、当ファンドの受益者または公衆に対し、明示または黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、ちばぎんアセットマネジメント株式会社（以下、「委託会社」と言います）とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマークおよびサービス名並びに特定のMorningstar インデックスの使用の許諾であり、Morningstar インデックスは、Morningstarグループが委託会社または当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstar インデックスの判断、構成または算定を行うにあたり、委託会社または当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額および設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティングまたは売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstar インデックスまたはそれに含まれるデータの正確性および/または完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの受益者もしくはユーザー、またはその他の人もしくは法人が、Morningstar インデックスまたはそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstar インデックスまたはそれに含まれるデータについて明示または黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的または使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。